

審判委員会よりお知らせ……No.5

▶活動報告

下記の通り主として社会人リーグ担当審判員対象の研修会及び講習会を行いました。特に、研修会受講義務対象の方で今回受けられなかった方は、3月に予定されている研修会を受講しないと、来年度の市リーグ審判員としての資格がなくなりますので、十分御留意下さい。

研修会 11月7日(土) 神戸市立勤労会館

受講者 67名

講師 岡田・村上

講習会 11月21日(土) 神戸市立勤労会館

受講者 73名

講師 榎原・中桐

▶トピックス

本年度の日本協会の1級審判員テストに、兵庫県より、岡田和法、林啓司両氏が合格され1級に昇格されました。

また、10月18日から11月3日にかけて、市リーグ1・2部の試合を使い、3級昇級テストを行い、次の4氏が3級に昇格されました。昌子力(神戸FC)、相見彰一(神戸FC)、樋裕保(兵庫FC)、八幡真悟(北須磨クラブ)

▶お知らせ

9月号でお知らせした、本年度の競技規則の改正は神戸市協会主催の大会においては、昭和63年4月1日より適用することとなりましたのでお知らせいたします。

▶審判法

~審判能力向上の具体的目標~

先頃、日本協会審判委員会より、審判能力向上の具体的目標と題して、5つの重点的項目が打出されました。原文は各項目について詳しい説明がありますが、以下にそれを約して掲げます。(この内容は10月7日の審判研修会でもとりあげられました。)

①動きの量を確保しながらよりよいポジショニングを考えよう。

最近、審判員も総体によく走るようになったが、ただ走り回っていても肝心のときにポジションの悪さから、プレーを見極められないことがある。ゲームの展開をよく読んで、何を見るためにどこに動くのかを常に考えながら、よいポジションからプレーを見るためには走ることを心がけよう。

天皇杯準決勝神戸で開催 12月30日 神戸中央球技場

神戸の準決勝に進出が予想されるのは読売クラブか、日産、古河あたりが有力と思われる。そうすればプロとして契約している選手がずらりと顔を見せることが予想される。前売券はサンチャカインフォメーション、チケットぴあ、サッカーショップPKF、加茂などでも入手できます。問い合わせは兵庫県サッカー協会(078-232-4647、または078-232-0753)へどうぞ。

入場料 一般券 前売 1,200 当日 1,500 生徒券 前売 600 当日 800

有宏スポーツ

東灘区御影町4丁目11-9
阪神御影駅南側西へ30m

078(412)2601

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階
鈴蘭台店 ダイエー西側

078(511)2234
078(592)0470

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26
高速大開駅東

078(576)0870

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8
JR元町駅南側東へ100m

078(392)0234

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店
ブレザーショップ、トアロード店
ドルチェマック、センター街店

078(391)0895
078(391)0896
078(332)0141

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10
078(332)5519

078(393)5519

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

078(453)2186

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3
阪神深江駅北側信号西

078(453)2186

赤川公一県副会長死去

兵庫県協会副会長赤川公一氏が去る11月6日西宮市の自宅で倒れられ同市内の渡辺病院で急性心停止のため死去されました。葬儀は翌7日御自宅でサッカー関係者も多数出席して取り行われました。

赤川さんは明治39年生で神戸一中、京都大学で名センターハーフとして活躍されました(センターハーフとはツーバックシステムの攻守の中心で、チームの最も秀れたプレイヤーがつとめました)。

実業界に入られて、神戸クラブのメンバーとして神戸のサッカーの指導的役割をはたされましたが、特に戦後、兵庫蹴球協会審判委員長として自らレフェリーをされるとともに審判員の養成に努力されました。又、神戸クラブを復活させて監督に就任され五大都市体育大会や、その他の大会でも立派な成績を収められました。

昭和40年以来兵庫県協会の副会長として、砂田重民会長を助け協会運営の先頭に立って活躍されました。特に若いサッカー選手の育成に努力され、兵庫県民大会サッカー競技に赤川杯を寄贈され、毎年優勝チームに渡されています。

赤川さんの兵庫、神戸のサッカーに対するご尽力に対し心よりお礼申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

'87関西学生リーグ終了

関西学連の最大の悩みは、試合会場の確保であるが、本年度は比較的スムーズな決定をみた。特に兵庫協会の絶大な支援で神戸中央を主会場に運営を進めることができた。紙面をお借りして関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて本年度は同志社の二連覇なるか、大商大の巻き返しなるか、さらに大体大、京産大の戦いぶりやいかに、実力伯仲というのが戦前の予想であった。

結果は下表の通り、大商大が定位を確保、京産大の躍進、大阪体大の低迷に終った。

注目すべき点は、30名近くの新人の活躍で、大商大的安原、奥井、中塚、京産大的土岐、同志社の神藤、吉田、大阪体大的米澤、藤本、立命館の時岡……関西学連の大きな財産ができた。彼等を日本の財産となるように育てていきたい。大いに期待できる選手達である。

是非とも会場にお出かけ頂いて声援して欲しい。選手の強化は、監督、コーチの努力は言うまでもないが、ファンの叱咤激励も大きな要素となります。多数の皆様の御来場をお待ちしています。

⑤すがすがしいサッカーを目指そう。

サッカーが本当にすばらしいスポーツとして大衆に支持されるためには、車にすばらしいプレーがフィールドで展開するだけでなく、選手の行動やマナーが、スポーツマンらしいフェアですがすがしいものでなければならぬ。そのためには、まず選手やベンチの「非紳士的行為」や判定への異議といった行為をコントロールすべき審判が、スポーツマンらしい紳士的な行動と態度を身につければならない。そして何にもましてサッカーを愛する心を持たなければならない。

なお、これらの項目は、決して一級審判員などトップレベルのレフェリングについてだけのものではなく、試合のレベルやその中でおこるプレーの質こそ違え、少年からトップまでのすべてのサッカーにおける審判能力向上の指針であることに注意しなければならない。

神戸市社会人運営会議予定

次回 1月21日(水)

12月18日、18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10

三木記念神戸市立スポーツ会館内

神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユーハイム

神戸市総合体育大会

垂水区(神戸高専)優勝

第37回 神戸市総合体育大会 結果



△決勝戦 垂水区 2 — 1 中央区

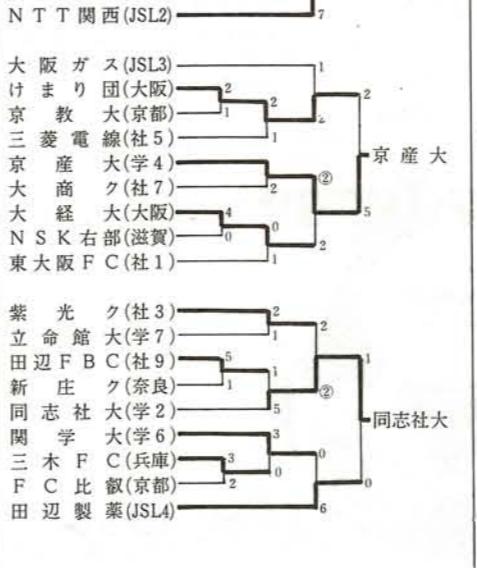
△3位戦 長田区 5 — 0 西 区

右: 市スポーツ功労賞を受賞した西林、岡村両氏
下: 優勝した神戸高専レブン



2002年 W杯を日本で

神戸市協会理事長 一北 四郎



たいと考えており、兵庫県協会としても神戸市に申し入れを行っている。
可能性としてはユニバーシアード記念神戸総合運動場の増改築か、中央球技場の建て替えが考えられるが、何としても8万人収容のグラウンドが実現した場合に、常時このグラウンドで数万人のファンを引きつける魅力あるゲームを実現することが必要である。

そのためには、早急に神戸にプロフェッショナル選手を含む、トップチームを育てることが大切である。

2002年といふと今から15年先のことではあるが、10年ぐらいいの年月はすぐに経ってしまう。今すぐに準備にかかる、日本のサッカーの現状を考えると間に合わないかもしれません。

サッカー関係者の皆様が、この問題を真剣に考えて下さることを期待し、日本サッカー協会の尻をたたくぐらいの意気込みを見せてほしいと思う。

なお、2002年の日本代表のメンバーには、当然、いま5歳から15歳くらいの年令のサッカー選手が対象になる。最強の日本代表を育てるためにも、又、神戸出身の選手を代表に送りこむためにも、神戸のサッカーの強化を急がなければならない。

国民体育大会 兵庫県成年男子準決勝進出

第42回国民体育大会秋季大会サッカー競技は10月26日から30日まで、沖縄県で開催された。近畿地区大会少年の部1位で本大会に出場した県高校選抜チームは、那覇市立金城中学校運動場での第1戦に鹿児島県代表を3対1と破り、県立奥武山競技場で2回戦を山口県代表と戦ったが、2対1と惜敗した。

一方、近畿地区予選において滋賀県を降として出場権を獲得した成年の部県代表は、沖縄市北中城村、県総合運動公園蹴球場で1回戦長崎、2回戦埼玉、準々決勝静岡と強豪相手に勝ち進み、準決勝に進出した。

準決勝前半、秋田県代表に3点を奪われて苦戦を強いられた。後半小丸のパスを笠谷が決めて一矢を報いたが、ばん回することはできなかった。

10月25日の開会式から30日の3位決定戦まで宿泊でお世話になった地元、宮里の方々の応援はたいへん力強く、親切で毎試合横断幕(写真)や旗を持って大勢で声援してください、選手、役員とも心から感謝、感激した。

成年男子(結果)

- △1回戦(26日)兵庫 1(1-0)0 長崎
- △2回戦(27日)兵庫 1(1-0)0 埼玉
- △準々決勝(28日)兵庫 2(1-1)1 静岡
- △準決勝(29日)兵庫 1(0-3)4 秋田
- △3位決定戦(30日)兵庫 1(0-2)2 鳥取



少年男子結果

△1回戦(26日)兵庫 3(0-1)1 鹿児島

前半はじめから兵庫のペースで進んでが、逆にPKを取られて0-1、後半に入つても兵庫が8割攻め、牧野のヘッドでの得点を皮切に2点を追加して楽勝。

△2回戦(27日)兵庫 1(1-1)2 山口

試合開始5分に、スイーパー原のハンドでPKをとられ0-1となり苦しい展開となつたが、徐々に兵庫が支配し喜来のシュートで同点とした。後半にはいり何度か決定的な形を作りながら決まらず、逆に残り10分右コーナーキックから決められて勝試合を失った。



兵庫県協会 役員親睦試合

9月13日神戸中央球技場において兵庫県サッカー協会傘下の県支部協会役員親睦サッカーフェスティバルが開催された。

参加したのは尼崎、西宮、神戸、明石、淡路、北播磨、竜野の各支部の役員チームと兵庫県サッカー協会の理事のメンバーで、日頃は大会運営に忙しいばかりの人達が緑の芝のうえで、一日、楽しくボールを蹴って親睦を深め、各支部協会間の情報交換や、旧交を温めることができた。

この行事はこれからも毎年一回は開催することに決まっているが、兵庫県協会はもちろん、各支部協会もそれぞれ、事業計画が盛りだくさんで、日程の調整がつきにくいのが難点である。

国体兵庫県成年男子

団長 高砂嘉之
 監督 細谷一郎
 コーチ 福山嘉夫
 総務 一北保五郎
 選手 松岡泰典
 前田正司
 山名幸男
 荒瀬光彦
 小丸俊幸
 林啓太
 鍵野剛一
 山本伸吾
 厚田太志
 神原吾郎
 安富学
 横田滋
 西田豊
 笠谷忠行

兵庫県少年男子高校選抜

GK 米田隆
 長尾光弘
 DF 原恵司
 木村秀人
 町輝男
 西野誠二
 小世一成
 MF 藤田善浩
 片岡泰
 泉竜二
 喜来正二
 斎藤正典
 FW 牧野景輔
 石井壯二郎
 直田義和
 指吸雅弘

充実のモルテン Tango



株式会社 モルテン

広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

日本サッカーに ルネサンスは起こるか？(32)

枚方FC 近江達

その時点でのチームにとってはマイナスにちがいなくとも、選手個人の成長のためには決して悪いことばかりではない。

それどころか、実は、将来、臨機応変の対応力充分で独創性豊かな選手になるには、絶対必要な体験なのである。だから、少々まどろっこしても、あまり口うるさく急がせたり、無理やりシンプルなプレーに直したりしない方がよい。

サッカーでは、よく「シンプルにいけ！」とか「もっとシンプルなプレーをすべきだった」となどと言われる。ボール扱いはシンプル、つまり、意味のない不必要的ボールタッチがないのが理想だし、チームの攻撃にしても、複雑すぎたり手数をかけすぎたりすると、時機を失したり、せっかく乗りかけた流れや、リズムをぶちこわしてしまい、おおむね結果はよくな。シンプルにやる方が好結果を生む場合が多いからである。

しかし、やたら口やかましく誰彼なくシンプルを強制するのはどうだろうか。弊害もかなりあるように思う。たとえば、メノッティ(アルゼンチン)に「日本はまっすぐにして行かない」と言われた。状況や成功率を無視して常に突撃する伝統の神風特攻隊的傾向など、せっかちな国民性やサッカー観のためだけなく、シンプル強調から来ている部分もある。

少年教育の分野になると、シンプル強制の弊害はもっとはつきりしている。下手な選手はボールをこね回したり、必要もないのに何回もわざつたりする。そうしないと肝心のプレーにかかれない。

頭脳の働きにしても、初心者はむろんのこと、数年サッカーをやってきた選手できえ、周りはなかなか見えないし、的確巧妙な即断速決など、そう簡単にできるものではないので、どうしても迷いや無駄があつたり、回りくどかたり、間違ったり、能率の悪い選択や判断行動になり勝ちである。

指導者や先輩達はそのたびにイララし立腹し、チームとしての攻守もそれだけモタつくので「ボールをもつな」と叫ぶ。激しい指導者になると「止めるな！蹴れ！蹴れ！」とエスカレートしてしまつて、まだズブの素人のうちから顔を上げ放しでバスだけに専念させる。

「シンプルこそ最良」はそんなとき、うつてつけの金科玉条であり、「ゴールからゴールへ、これがサッカーだ」という警句など、さしづめ錦の御旗であろう。でも、それは戦法としては確かに正しくても、まだ年少のレベルの低い選手に対する教育としては良くない。

実戦的能力は自ら学べ

実戦的能力獲得には、自由な試行錯誤と長期間の独学体験が必要

子供や未熟な選手が必要以上にボールタップが多く、プレーやコースの決断や選択が遅く悪いのは当然の現象で、誰だって一人前になるには、大なり小なり、そうした稚拙な時代を通過しなくてはならない。でも、それは、

そのままにしておこう。

そのためには、まずは自分で頭を働かせ创意工夫してプレーする

ことが大切で、その中で効果的なボールの離し方を徐々に覚えていくのがよい。もちろん、パスも教えるけれども、決して無理強いはしない。そうすれば相当レベルの高い選手に育つことがわかる。

「シンプルに！」という言葉はほとんど口にしたことがない。うるさく注意しなくとも、少年たちは結構巧くなり、サッカーがわかってくる。戦術眼が芽生え磨かれてゆくからである。

少年たちにとって、シンプルなプレーは、戦法として教え込まれたり強制されてやるのではなく、熟達の結果であるべきで、それを到達目標として進むのがよいと思う。そうすれば弊害も起らざるにすむ。むろん選手のレベルや年齢にもよる。「人を見て法を説け」で、年少でも、ほかはすでに一人前とか、高いレベルに達している選手やチームに対しては、勝つ手段戦法としてもシンプルを要求すべきである。その場合はもはや大した弊害はないだろう。

なぜ、シンプルは熟練の結果であるべきなのか、もう一つ理由をあげておこう。

シンプルが良いといつても、文字どおり、「何でもバッパッと簡単にやりさえすればいいのだ」と受け取るのは、あまりにも単純すぎると言ふものである。

というのは、どんなスポーツでもそうだが

とにかくサッカーでは、先般、ベルリン・オリ

ンピック以来長い間代表選手だった堀江氏も書いておられるように、同時に二つ、三つの

ことができないと良い選手にはなれない、か

らである。

「シンプルこそ最良」も真理なら、これもまた正真正銘の真理なのである。

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者・近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で連載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



持たないかは、選手自身の判断次第だから、自分で頭を働かせ创意工夫してプレーすることが大切で、その中で効果的なボールの離し方を徐々に覚えていくのがよい。もちろん、パスも教えるけれども、決して無理強いはしない。そうすれば相当レベルの高い選手に育つことがわかる。

「シンプルに！」という言葉はほとんど口にしたことがない。うるさく注意しなくとも、少年たちは結構巧くなり、サッカーがわかってくる。戦術眼が芽生え磨かれてゆくからである。

少年たちにとって、シンプルなプレーは、戦法として教え込まれたり強制されてやるのではなく、熟達の結果であるべきで、それを到達目標として進むのがよいと思う。そうすれば弊害も起らざるにすむ。むろん選手のレベルや年齢にもよる。「人を見て法を説け」で、年少でも、ほかはすでに一人前とか、高いレベルに達している選手やチームに対しては、勝つ手段戦法としてもシンプルを要求すべきである。その場合はもはや大した弊害はないだろう。

なぜ、シンプルは熟練の結果であるべきなのか、もう一つ理由をあげておこう。

シンプルが良いといつても、文字どおり、「何でもバッパッと簡単にやりさえすればいいのだ」と受け取るのは、あまりにも単純すぎると言ふものである。

というのは、どんなスポーツでもそうだがとにかくサッカーでは、先般、ベルリン・オリ

ンピック以来長い間代表選手だった堀江氏も書いておられるように、同時に二つ、三つの

ことができないと良い選手にはなれない、か

らである。

「シンプルこそ最良」も真理なら、これもまた正真正銘の真理なのである。

一つづく

モンブランの“スピード”サッカー

基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam[®] & Lube/o[®]

親しまれるサッカーウェア younger[®]



MONTBLANC.[®]
 リアル・スポーツの追求

モンブラン株式会社
 神戸・東京・福岡

標準小売価格￥9,800